

『国際交流推進機構ファクトブックⅡ』
(沿革・構成編)

1. 沿革

◆平成 17(2005)年 国際交流推進本部の設置

《設置・改組時の趣旨》

平成 17(2005)年 7 月 1 日、神戸大学の国際的な連携及び交流活動にかかわる企画・実施などを担ってきた国際交流推進室を発展的に改組し、国際交流推進本部を開所した。

国際交流推進本部の設置にあたっては、文部科学省が「知」の世界大競争へ対応し国内外の優秀な研究者をひきつける国際競争力のある研究環境を実現することを目的に公募した「大学国際戦略本部強化事業」に採択され、平成 17(2005)年度～平成 21(2009)年度の 5 年間、約 1 千 5 百万円/年が措置された。

◆平成 19(2007)年 国際交流推進機構の設置

《設置・改組時の趣旨》

平成 19(2007)年 6 月 1 日、本学の特定の重要事項に関し、企画・推進する組織として設置されたが、平成 25 年 6 月 30 日をもって、廃止された。

◆平成 25(2013)年 国際交流推進機構の改組

平成 25(2013)年 7 月 1 日付で国際交流推進機構の改組を行い、機能強化された EU 総合学術センター(平成 23 年 7 月設置)、新設のアジア総合学術センター及び国際交流室を軸に全学横断的な国際連携を展開する。

2. 機構長

◆国際交流推進機構長

井上典之国際担当理事(学長が指名する理事)



3. 副機構長

◆国際交流推進機構副機構長

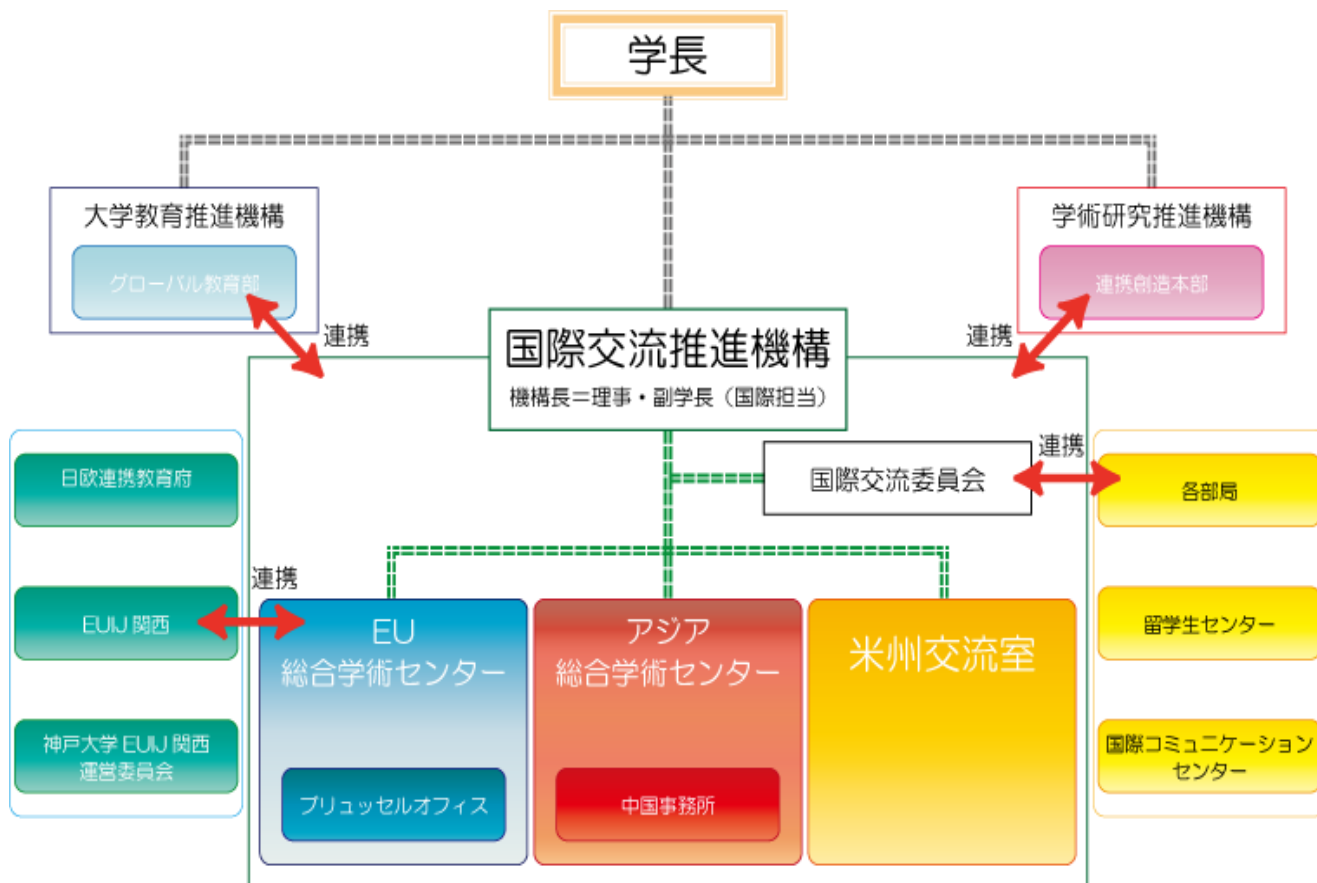
副機構長は 3 人とし、EU 総合学術センター長、新設のアジア総合学術センター長、国際交流室長をもって充てる。

4. 構成

◆国際交流推進機構 【参考資料1】

機構は、次に掲げるセンター等及び委員会をもって構成する。

- ①EU 総合学術センター
- ②アジア総合学術センター
- ③国際交流室
- ④国際交流委員会



7. 予算規模

- ◆平成 25(2013)年度はグローバル化推進経費、ビジョン推進経費、神戸大学基金、神戸大学国際交流事業促進基金、間接経費などで約 2.6 億円執行。

9. ミッション(教育研究上の目的, 設置の趣旨目的)

機構は、機構を構成する組織の相互の連携協力を促進することにより、次に掲げる事項の企画立案及び実施を円滑に行い、もって神戸大学の国際交流の推進に資することを目的とする。

- (1) 本学の国際交流の総合的な推進
- (2) 学術研究の国際交流の推進
- (3) 学生の海外留学の促進及び外国人留学生受入れ等の推進
- (4) 地域との連携による国際交流事業の推進

16. 教育研究上の活動状況等

- ①全学の国際戦略の企画・立案をし、国際交流の推進を図る。
ポスト神戸大学ビジョン 2015 の策定、具体的には、ポスト神戸大学ビジョン 2015 実施期間における国際戦略の草案を作成する。
- ②海外事務所を戦略的かつ有効的に活用する。
部局と連携しつつ、海外における本学のプレゼンス向上、学术交流の促進、留学生支援等を行う。
- ③競争的資金獲得のための申請を企画し、部局間調整を行う。

- ④神戸大学の教育研究の国際交流活動を広く内外ともにアピールするための広報活動を担い、情報収集・情報発信を積極的かつ戦略的に行う。